



沖縄の子どもたちとスポーツ通し交流深める 沖縄伊江村と高島とのスポーツ相互交流事業

8月2日（月）から5日（木）に沖縄伊江村で実施された交流事業に、高島スポーツ少年団から15人が参加しました。



沖縄伊江村で参加者らは、マリンスポーツを楽しんだり、ホームステイによる人と人とのふれあいにより、沖縄の文化を肌で感じ取っていました。

来年2月には、沖縄の子どもたち（17人）が寒い冬の高島に来て、スキー等で交流を深める予定です。

エメラルドグリーンの高島から白一色の高島へ訪れる日には、空から白い雪が舞って欲しいと願っています。

（高島公民館）



Vol.2「琵琶湖治水の物語」舞台の前にちょっとブレイク 藤本太郎兵衛って何をした人？

藤本太郎兵衛は、高島郡新旭町深溝村の庄屋でした。江戸後期、大雨が降ると琵琶湖の水が膨れ上がり、湖近くの田んぼはすべて水に沈んでしまったそうです。この水害をなくすためには、琵琶湖唯一の水の落ち口、瀬田川の土砂を取り除き、流れをよくするしかない。瀬田川の川ざらえ。これを実現するためには、琵琶湖周辺の200の村の同意と、工事費用をすべて自前で用意する必要がありました。そこで、その代表者として立ち上がったのが、藤本太郎兵衛、その人でした。

太郎兵衛は、琵琶湖の周りがある200もの村を歩き、同意を取り付け、幕府と粘り強く交渉にあたりました。もちろん新旭だけでなく、マキノ、今津、安曇川、高島の琵琶湖に接する村々はすべてこの中に含まれています。その後、一度だけ川ざらえが実現しますが、思うように工事は進まず、時間切れとなってしまう。農民の暮らしを救いたい一心で、太郎兵衛は交渉を続けますが、いい返事は返ってきません。やがて、高齢になった太郎兵衛は息子重勝に代表を引き継ぎます。それ

からも粘り強い交渉が続きますが、幕府の許可が出る気配はありません。思いつめた重勝は、うち首覚悟で直訴に打って出ます。命は助かりましたが、それから後も幕府の動きは遅く、ひたすら許可を待ちつづけた重勝はその息子清勝を残して死んでしまいます。そして、初代太郎兵衛が川ざらえを決意してから50年。孫清勝の代になって、やっと大がかりな川ざらえの許可が下りたのです。（脚本のあらすじ）

琵琶湖の水位を下げ、郷土の暮らしを

守ろうと、本人のみならず、息子、孫に至るまで、情熱をかけた藤本太郎兵衛。その姿は、現代の私たちに何を伝えてくれるのでしょうか。舞台をお楽しみに！

（資料）川ざらえ嘆願に登場する村々▶（当時の村名）

関 藤樹の里文化芸術会館

☎ (32) 2461

地域	在所	地域	在所
マキノ	大沼	新旭	太田
	海津		岡津
今津	新保	安曇川	木津
	知内		五十川
高島	中之庄	河島	田井
	今津		針江
高島	桂	下川	深溝
	北仰		吉武
高島	深清水	東万	河島
	打下		下川
高島	鴨	藤江	東万
	永田		舟木
高島	横江	横江	横江
	横江		横江

今津銃剣道スポーツ少年団が全国大会で大活躍！

▼全国高校生銃剣道大会

7月25日（日）に宮城県岩沼市総合体育館で開催された「第22回全国高校生銃剣道大会・銃剣道（個人戦）1年生の部」で、今津銃剣道スポーツ少年団の平田悠朗選手（安曇川高校）が見事第3位に輝きました。

▼全日本少年少女武道錬成大会

8月4日（水）に日本武道館で開催された「第32回全日本少年少女武道錬成大会」で、今津銃剣道スポーツ少年団員が次のとおり好成績を収められました。（市民スポーツ課）

《銃剣道（団体戦）》

小学5・6年生の部

優勝 平田 秀幸（今津東小）
岡本 共平（今津北小）
小林 翔（今津東小）



《銃剣道（個人戦）》

小学6年生の部

優勝 平田 秀幸（今津東小）

小学6年生の部

準優勝 岡本 共平（今津北小）

小学6年生の部

第3位 内藤 翔太（今津東小）

小学1・2年生の部

第3位 吉見 風香（今津東小）

《短剣道（個人戦）》

小学5・6年生の部

優勝 内藤 翔太（今津東小）

小学1・2年生の部

準優勝 吉見 風香（今津東小）

小学5・6年生の部

第3位 平田 秀幸（今津東小）

青井選手が 少林寺拳法県大会で優勝！

7月25日（日）に滋賀県立体育館で開催された「少林寺拳法第25回滋賀県大会」中学生単独演武の部で、新旭少林寺拳法スポーツ少年団の青井大幸選手（安曇川中1年）が見事優勝に輝きました。

（市民スポーツ課）



高島軟式野球スポーツ少年団が 県大会で準優勝！

7月31日（土）から8月1日（日）に甲賀市民スタジアムで開催された「第41回滋賀県学童野球選手権大会決勝大会」で、高島軟式野球スポーツ少年団（リトルオール高島）が見事準優勝に輝きました。

（市民スポーツ課）

